



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

11月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2013年(平成25年) 11月1日(金)

NO. 147

## 朝の集いの目的は

楽しく暮らしたい、幸福に生きたいというのは、多くの人が願うところでしょう。しかし、現実には幸福どころか生きることでさえ難しいと訴える人も少なくありません。じつは、人生の苦しみの原因はわがままな生活にあることが純粋倫理の研究によってはっきりと分かってきました。

わがままとは、たとえば強情を突っ張ったり、勝手気ままにふるまったりということだけでなく、自然な暮らし道から外れているすべての行動を言います。

ですから、幸福になるにはわがままを改めればよいのですが、これがなかなか簡単にはいかなないところに、不幸がなくならない原因があります。

朝の集いは、そうしたわがままを捨て去るための実践の足場なのです。

純粋倫理を学び実践することとは、本を読みながら一人でも出来なくはありません。しかし創立者は、「朝の集いは芋洗い道場である」と言いました。それは、出席者が互いに切磋琢磨してわがままの皮をむき合う、人の話を聞くこ

とで、自らの至らない点が反省でき、すなおな人間に生まれ変わっていくという意味です。朝の集いの意義はそれだけではありません。

まず、一日一回ものごとを規則的に行なうことは自然のリズムに合致します。毎日出席すること、そのために決まった時間に起きることが重要です。

次に、目が覚めたらすぐ起きることによって自然に順応し、すべての人や物と仲良くする心を養います。

また、会場の明るい雰囲気にも包まれて、心が朗らかになります。

この他、一貫して続けることにより、自分ではどうすることもできないクセが自然にとれます。

一日の始めに正しい生活のあり方、(純粋倫理)を学ぶことにより、その日一日を正しく暮らすことができます。

よき師、よき友を得て、互いに学び、励まし合い、人生への活力が生まれます。

ざっとあげただけでもこうした効用が朝の集いにはあるのです。

『倫理運動ガイドブック』

## 会員総会があります

十一月十日(日)午前八時三十分から会員総会です。南カリフォルニア倫理の会の大切な総会ですから、会員の皆さん、参加をお願い致します。参加できない方は班長まで委任状をお出し下さい。

## 倫理セミナーのお知らせ

十一月十日(日)午前十時十五分より、伏木久登部長によるセミナーが開かれます。テーマ「出会いが人生を変える」

人生は出会いの連続で出来上がっている。これまでも、これからも、出会いこそが、人生を変えてゆく。

よき出会いをする人は、純粋倫理から見た日常生活での共通の行動様式があります。今回の倫理セミナーでは、よき出会いの為の誰もが出来る実践行動を学びましょう。

しっかりと倫理を学ぶチャンスです。お友達にも是非お声をかけてお誘い下さい。倫理生活が幸せの第一歩であることを広くみなさんにお知らせしましょう。

## プロフィール

生涯局教育企画部部長  
伏木久登  
(ふしき ひさと)

### 経歴

- ・1961年(昭和36年)京都市に生まれる
- ・京都府立大学農学部卒業の後、柔道整復師の資格を取得し、医療業務に従事。その後10年間、倫理研究所の会員として純粋倫理を学ぶ。
- ・1995年(平成7年)倫理研究所へ入所
- ・1997年 4月 2年間の研修期間を経た後、個人会員組織、生涯開発局にて運営指導を担当。
- ・2001年 9月 法人会員組織 法人局にて運営指導を担当。
- ・2013年 9月 生涯局教育企画部部長 現在に至る



## ガーデナ市

### クリーンアップデー

九月二十一日（土）午前八時半〜十二時まで、ガーデナ市主催の清掃に今年も参加しました。

たくさんの他団体・個人参加者がいましたが、私達は毎年のこととでノーマンディからバーモントまでのガーデナ通りのお掃除が割り当てです。綺麗に掃き清めていくと、ゴミ袋はたちまちいっぱいになります。でも掃除をした後の道路の清々しさに、疲れも消える感じでした。

参加者は写真右から、橋本学さん（九十一歳）、滝川政和さん（八十八歳）、前田グレースさん



ん、大竹信雄さん、柳川往代さん、梅本和子さん。

お掃除の後、参加者全員ガーデナの公園でランチを頂き、ガーデナ市長から各団体に感謝証を手渡すセレモニーがありました。

この行事は二〇〇三年に氏家正子さんがガーデナ・バレー新聞の記事を見て毎年九月に行われているのを知り、倫理研究所の清掃の実践にぴったりだと提案してくれたのが始まりです。

以来、今年で十年参加を続けています。会としての行事から個人参加とはなりましたが、前田グレースさんが担当を引き受け倫理研究所USAとしてボランティア

### ガーデナ市の感謝証



アしてきます。

掃除が行き届いた市は犯罪が少ないというガーデナ市の方針ですが、公共の場を清掃する気持ちよさは格別です。無心で掃除をする倫理の実践もできます。皆さん、来年は是非一緒にお掃除をしましょう。前田さんまでお問い合わせ下さい。

### 感動したこと

三班 梅本和子  
今年もガーデナ市のお掃除に参加致しました。橋本学さんが去年、途中で疲れたご様子だった

時、大竹信雄さんが飴を渡されたのに感心して、私も今年は飴を準備して行きました。

すると、前田グレースさんは、適当な頃を見計らって橋本学さんに冷たいフルーツジュースを差し上げたのです。橋本さんは本当にうれしそうに笑顔で飲んでおられました。

疲れたらするのではなく、様子を見て細やかな心使いをされる前田グレースさんに、人様への愛情のあり方を教えられ、自分もしっかり見習おうと深く思いました。

## 十年皆勤 喜働のお手本

ガーデナ市クリーンアップデーに参加を始めて今年で十年です。最初からの参加で十年皆勤の方は、

滝川政和さん、前田グレースさん、梅本和子さん

お三方とも、体を動かしている方が調子がいい、参加すること自体が喜びで感謝だとおっしゃいます。

九十一歳の橋本学さんは体調の良い時は必ず参加。大竹さん、柳川さん、大島さん、矢崎さん他の皆さんも参加されて、実践報告をして下さいます。

梅本和子さんは去年、腰骨を折り、人様の手を借りなければ生活出来なかった苦労を思い、あの体験があったから自分で動けるといふのはなんと有難いことか今の生活に感謝でいっぱいですと話してくださいました。

今日一日 朗らかに安らかに喜んで進んで働きます

### 毎日書道展で佳作賞

第六十五回毎日書道展で秋津書道会員の滝川政和さんが佳作賞を受賞されました。おめでとうございます。佳作賞を受賞した滝川さんの作品



書道の今後を考えると、秋津書道会の「自分の言葉を書く」という取り組みは益々注目されるはず。ほんとうに個性的な書道は、書かれた言葉も筆者自身の言葉だということです。

北奥明彦  
『秋津書道』十月号



3席  
筆の動きが無理なく、余白を良く生かしている。  
両カシフォルニア 長谷川松子  
癸巳夏日 松子書

### 実践報告

三班 梅本豊造

一ヶ月ちよつと前に前立腺の手術を受けました。私は朝早くから働くだけが楽しみの人間です。それが、手術後、体のためとは言え、何もやってはいけな

いと医者に言われ、普通に座るのもままならず、ソファに不自由な格好で座りテレビを見るだけの毎日を強いられました。本当に苦痛でした。何もしなくていいのは、気楽どころか、こんなに苦しいものなのだとつくづく思いました。先週半ばにやっと、散歩と軽い仕事の許可が医者から出て、秋津書道のお手伝いをさせていただきました。動く、働けることがとても嬉しく、ありがたく、その幸せを今しみじみと噛みしめています。

### 実践報告

二班 ホン史子

三年間、毎朝お祈りを続けました。三年前娘が正看護師（RN）ライセンス取得の勉強をはじめたのです。母親として何を実践しようかと考え、毎朝父母

の写真に手を合わせ娘の成功をお願ひすることにしました。九月に娘は試験に合格しました。娘は、病院勤務に必要な修士課程を更に二年間学びます。私の実践はまだまだ続きます。

### 尾崎泰斗君に奨学金

尾崎泰斗君が朝の集いで感謝の報告をしました。南加県人会協議会は日本文化の継承者育成を目的とした育英奨学金一〇〇〇ドルと賞状をそれぞれ八人の若人に授与。尾崎君は三重県人会の推薦で、特技日本語で奨学金を得ました。倫理の会員に三重県人会の人が多いため感謝の報告となりました。

### 倫理図書代金

日米の銀行間事情の変更に伴い、図書代金が少し変わります。例えば十ドルの図書なら十ドル五十セントと、本代の五%を加えてお支払い下さい。

変更本代の一覧はオフィスの貼ってありますが、詳しくは図書係りの梅本和子さんにお尋ね下さい。

### ガレージセールは無し

今年度は日程の都合がつかず、役員会でガレージセールはしないことに決まりました。皆様、ご寄付の品物は来年に備えてもう一年お手元に保存をお願い致します。

### 今年度の予定です。

(Save the date)

十一月八日〜十一日

会員総会

生涯局企画部

伏木久登部長

二〇一四年

二月十四日〜十七日

法人局普及事業部

田島康賢研究員

四月十一日〜十四日

生涯局

相馬紀子専任講師

五月十六日〜十九日

文化講演会

法人局普及事業部

荒木良仁研究員

七月十一日〜十四日

文化部

矢口祐司専任研究員

おめでどうございます

『しきなみ』十月号

真砂集（西東京・海外）

一席 摺木洋子

大腸の入口にある吾の癌はピンク色した花  
びらのよう

（評）徒ならぬ現実を享受された作者。心の  
広さがあふれています。 宮本邦子選

飛雲集（西東京・海外）

入選 伊澤潤子

『秋津書道』十月号

競書

九席 滝川政和 人の部 （東京）

二席 堀井幸江 高等部 々

入選 咲田静子 々 々

入選 梅本豊造 々 々

入選 羽島照子 一般部（東京）草書

四席 脇山由希 々 （東京）行書

五席 前田グレース 々 々

七席 草野律子 々 々

入選 枘中恵美子 々 々

二席 竹内康子 々 楷書

四席 大竹信雄 々 々

六席 小倉治望 々 々

入選 ノーリスてるみ 々 々

調和体

三席 長谷川公子 高等部 （東京）

槐夏午風清  
2席 堀井 幸江

大変漢筆ですばらしいです。

槐夏午風清  
2席 竹内 康子

遠く米国からパワーが伝わってきます。

槐夏午風清  
4席 大竹 信雄

力強さの中に優しさを感じさせます。

槐夏午風清  
6席

小倉治望

しきなみ短歌

青森のねぶた祭りは菅笠で老いも若き  
もラッセラーラッセラー 長谷川公子  
濃緑の空に迫れる万里城間かく毎に狼  
煙台（のろしだい）あり 塩出笑子  
交差点をケータイメール打ちながら渡  
る少女の背に夕日映ゆ 伊澤潤子  
頻繁に母を見舞に来る嫁を忘れてしま  
い愕然とする 梅本豊造

童歌を散歩をしつつ口遊む幼に返る姑九十  
三歳 梅本和子

あまた生る実のうち見分け熟れたるを啄む  
野鳥の知恵に脱帽 門園美枝子

満天の星空横切る流星に歓声あげる家族四  
人は ホン史子

「高い高い」吾子の頭上で泳ぐ孫木漏れ日  
に笑う声のはじけり 松永典子

息子の就職決まりて集うサンデイエゴの海  
をバックに家族の写真 草野律子

間にあわず大腸癌の手術後はトイレへの道  
天より遠し 摺木洋子

満月の夜の坂道をゆっくりと虫の音聞きつ  
つ家族で歩く 松元依子

シントウを苗屋でみつけ鉢植えをあるだけ  
全部買い占める朝 大川敏子

十三弦奏でいでたる乱れ音に三弦引き入り  
て晩夏をおしむ 西島幸彦

時折に急に落ち来るカウアイのシャワーに  
会いて濡れてさわぎぬ 滝川歌子

鮮やかな朝顔小さく桃色に朝つゆ受けて  
瑞々しかり 奥本洋子

夕ざればバーベキューの匂い漂いてにぎわ  
う声に夏はきたりぬ 杉野和子

トランペットの花の放てる甘き香のさ庭に  
みつる夕つつ方なり 伊勢田豊

傘を差すわが首元に降り来たる一つぶ二つ  
ぶ跳ね来て清し 矢口裕司